**○○○学区自主防災会**

**防災行動マニュアル（地震）**

１　自主防災会本部を設置するとき

　□　○○区に震度○○以上の地震が発生したとき

　□　学区内に地震による被害が発生し，避難者が出たとき

２　発災直後の対応（初動措置）

□　自分の身を守るなど，各自の初動措置をとる

□　家族の安否確認，隣近所に声を掛けて地域の集合場所へ移動する

（役員は自分自身が無事であること，避難所へ向かうことを伝える）

□　役員は避難所（自主防災会本部を立ち上げる場所）へ移動する

□　必要物品を持っていく（防災行動シートで確認する）

３　自主防災会本部の設置

　□　避難所の開設準備をする　→　避難所運営マニュアル参照

　□　避難所開設のための各種団体長への連絡する

　□　自主防災会本部を立ち上げる　→　必要物品準備（防災行動シートで確認する）

　□　役割分担を確認する

４　情報収集(□)，情報処理 (○)

　□　各自主防災部から安否確認表を受け取り，避難状況・被害状況等の情報を収集する

　□　3時間たっても報告がない，避難所に来ない自主防災部の被害状況を確認する

　　（防災活動に協力できる住民の中から確認に行ってもらう）

　○　入手した情報を整理して，学区全体の被災状況，活動状況等をホワイトボードと地図に記載する

　　　○　火災発生状況　　○　負傷者数　　　　　○　避難者数

○　建物倒壊状況　　○　通行できない箇所

　　○　地震の情報　　　○　京都市，気象庁等の発表情報

　○　関係機関等との情報を共有する。（電話番号は緊急連絡網で確認）

　　　○【　　】区役所　　　○【　　】消防署　　　○【　　】警察署

　　　○【　　】土木事務所　○【　　】学区自主防災会（隣接学区）

□　被害があれば，消防分団に連絡し連携して活動する

５　消火活動

　□　集まった消火器やバケツなどの器材を１箇所に集める

□　被害が大きく，防災活動に人手が足りない自主防災部（町内会）へ，防災活動に協力

できる住民で応援に行く

　□　現在の活動や，被害状況について情報処理担当に報告し，情報を共有する

　□　あらゆる手段で消防団，消防署員に連絡し，消火活動を実施してもらう

　□　火に囲まれて，逃げ道をふさがれないように必ず見張りを付ける

６　救出・救護活動

　□　防災器材格納庫から防災器材を取り出し，集まった器材と一緒に１箇所に集める

□　被害が大きく，防災活動に人手が足りない自主防災部（町内会）へ，防災活動に協力

できる住民で応援に行く

　□　現在の活動や，被害状況について情報処理担当に報告し，情報を共有する

□　あらゆる手段で消防団，消防署員に連絡し，救助活動を実施してもらう

７　応急救護所活動

　□　応急救護所を○○○小学校保健室に設置する

□　必要器材を準備し，集まった器材と一緒に保健室に集める

□　応急救護所で応急処置を実施する

□　医療機関へ搬送する必要がある負傷者を，使える手段を用いて搬送する

　　　近い順　①　○○○医院　②　○○○診療所　③　○○○総合病院

　　　方法　　①　車　②　リヤカー　③　応急担架　④　車いす　⑤　おんぶ

８　その他

　□　○○○中学校には自主防災会副本部を設置し，副会長をリーダーとする。

　□　中学校の生徒が学校に残っている場合は，学校内での防災活動に協力してもらうようお願いする。

　□　配慮を要する住民が避難されれば，避難所運営協議会に対応をお願いする。

　□　火災が拡大し危険なときは，安全なルートを通って広域避難場所〔○○○公園〕へ避難する

　□　感染症の感染防止対策のため、消毒用アルコール、マスク等を準備する

添付資料

防災マップ，緊急連絡網，自主防災部名一覧，役割分担表，防災器材一覧表，情報伝達文